

2020年5月25日(月) 日刊工業新聞掲載

とともに、感染を防止するためウェブ会議システムを導入した。事業会社である大成ファインケミカル(千葉県旭市)と、同社の営業・研究部門がある東京都葛飾区の拠点、大成化工(同成田市)で運用を開始した。

少なくとも緊急事態宣言が解除されるまでは続け、まずウェブ会議に慣れるようにする。稲生専務は「現場を実際に見学したり、商品を手触ったりできない」などデメリットを指摘した上で「遠方に移動する際の交通費や時間を削減できる」とメ

化工で特別有給休暇制度を導入した。153人の社員のうち、小学3年生以下の子どもがいて、共働きなどで家庭に子育てができる人がいない社員25人に緊急事態宣言が継続している期間、1カ月当たり8日間の有給休暇を支給するもの。

今後、新型コロナウイルスの感染を防止するために導入した時差出勤やテレワーク、自動車通勤の奨励、パンデミック(世界的大流行)に対応した事業継続計画(BCP)などの効果も検証し、アフターコロナ社会に対応できる体制づくりを進めていく。

ウェブ会議定着／子育て支援有休



日本シームが展示場

日本シーム(埼玉県川口市、木口達也社長、048-298-7700)は、本社敷地を拡張してシヨールーム(写真)を開設した。廃プラスチックをリサイクルするための粉碎機など製品展示、顧客の製品テスト環境を備える。3階建てで、延べ床面積633平方

顧客の製品テストも実施

。1階は小型機を中心に展示し、5フロアを3台配置。中・大型機のラボを設置し、要望に応じた生産ラインのテストも可能。2階は製品テストの見学スペースとして活用する。木

口社長は「顧客が求めるデモ機を常にテストできるようにしている。新規装置の開発にも役立て、顧客の課題解決につなげたい」と話す。

(さいたま)



下平さん

ラウンジ

多角的な視点

▽:「営業担当は多角的な視点を持つことが大事」と訴えるの、不二WPC(相模原市南区)社長の下平さん。4月の緊急事態宣言を受け、社員

▽:下平さん自らも哲学を学び、歴史書を

読む。「知の巨人たちが難しい問題を考え、二〇二〇年(相模原市南区)社長の下平さん。4月の緊急事態宣言を受け、社員

会マネジ に向けた包括連携協定を 締結した。レジリエ 県釜石市 ニング・テーマに「復興 地で行事 まちづくり」と「鉄の 産業史」の2コースを

・団体・行政における 働き方改革の導入促進 協力④市のワーケーション 力に関する情報発信。 協定締結に伴い実施 するラーニング・プロ

城南信用金庫(東京 都品川区)新型コロナウイルス 対応への見舞いとして、新宿調理師 専門学校(東京都新宿 区)から弁当合計100 食の無償提供を受け た。提供を受けたのは 城南信金の営業部本 大森支店、蒲田支 店、馬込支店、入新井 店、六郷支店、蓮沼 店。

◆オンラインで講演 キヤディ(東京都台 3671)へ。